

令和6年度 丹波篠山市立丹南中学校 学習や生活に関する調査結果について

(第2学年)

1学期に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。ここに本校の分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

●国語

【目標値に達している領域】

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項
- ・情報の扱い方に関する事項
- ・我が国の言語文化に関する事項
- ・話すこと、聞くこと
- ・書くこと
- ・読むこと

【課題のある項目】

- ・調べたことをスピーチする

領域で見ると全て目標値を上回り、おおむね良好な状況です。

問題の内容別に見ると、「漢字を読む」「漢字を書く」や、「説明的な文章の内容を読み取る」といった項目は、目標値を大きく上回っており、満足できる結果といえます。

一方、「調べたことをスピーチする」の項目は、目標値を下回る結果となっています。対策としては、授業の中で発表する場面を積極的に増やし、グループでの話し合い活動を積極的に取り入れることで、力を付けていこうと考えています。

●数学

【目標値に達している領域】

- ・数と式
- ・図形
- ・関数

【課題のある領域】

- ・データの活用

領域別にみると、「数と式」「図形」「関数」では、目標値を上回っており、「データの活用」においては、目標値を下回っています。

問題の内容別に見ると、ほとんどの項目において目標値を上回っており、満足できる結果と言えます。特に、「正の数・負の数」の項目では、目標値を大きく上回っており、基礎・基本が定着していると考えられます。

一方、「データの分布の傾向」において課題が見られます。対策としては、身近なデータ（平均点、気象データ、50m走のタイムなど）に数多くふれ、平均値や中央値、もしくはデータのばらつきなどに注目させていくことで、力を伸ばしたいです。

●生活習慣・学習習慣について

昨年度はほとんど全ての項目で肯定率が全国平均より低かったですが、今年度はほとんどの項目で全国平均並みの結果でした。しかし、「友達の意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがありますか。」や「あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。」など、学習面でポイントの低い項目がありました。学習する意味を考えたり、自分の進路について考え始めたりしていくことで、学習意欲の向上につなげていきたいです。

一方、ポイントが高かったのは「学校の行事や活動の中で、あなたの心に残っていることがありますか。」や「あなたのクラスでは、みんなが先生の言うことを守っていますか。」の項目です。昨年度1年間、行事等を通して達成感ややりがいを感じることができたと考えられます。また、昨年度は規律面での課題が多く見られましたが、1年間を通して改善傾向にあるように感じます。